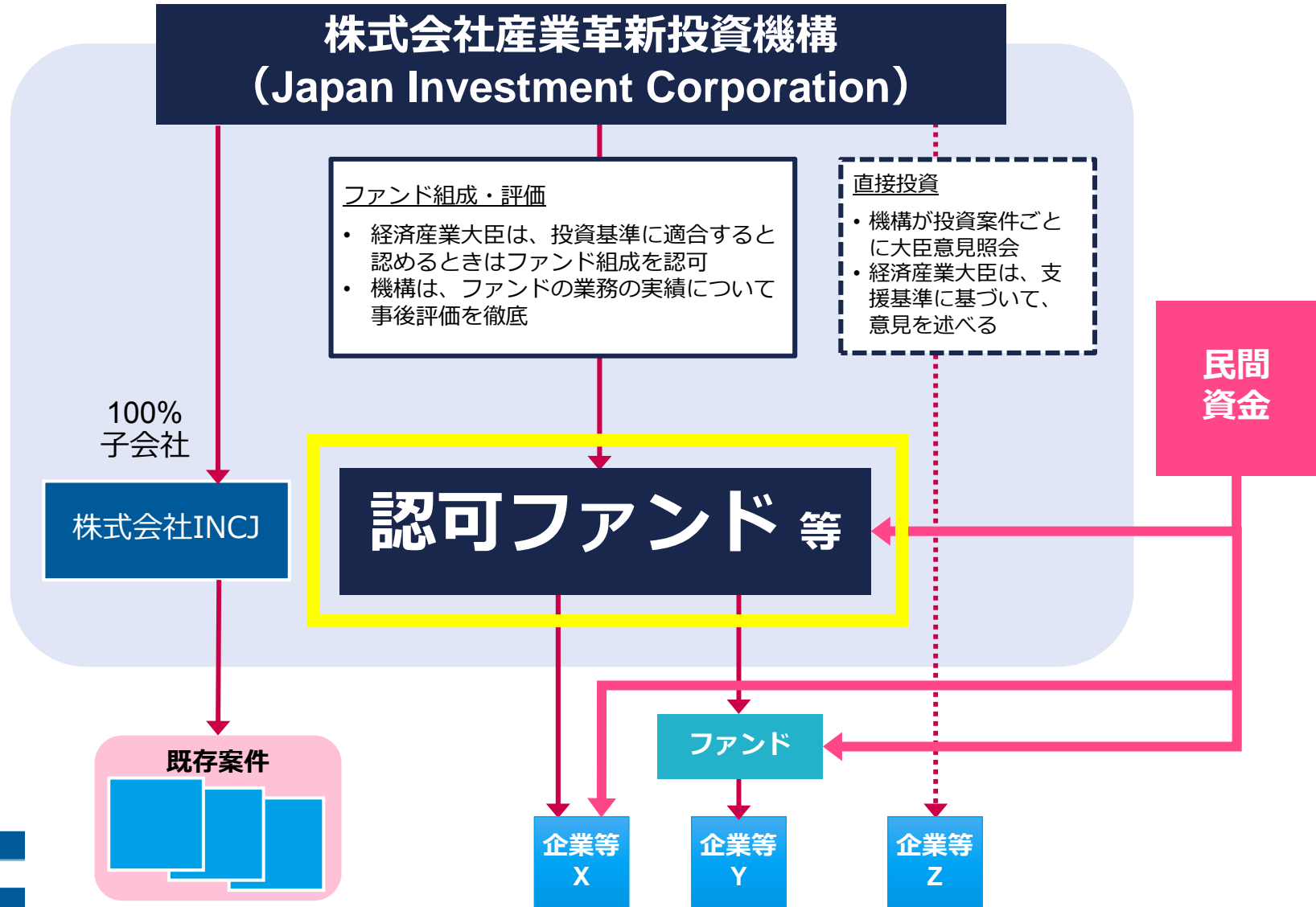


JIC第1号ファンド設立記者会見

株式会社 産業革新投資機構

2018/10/26 (C) JIC. All Rights Reserved.

はじめに：本発表の対象



はじめに：今回の投資対象分野

投資基準における重点分野：

1 Society 5.0 に向けた新規事業の創造の推進

2 ユニコーンベンチャーの創出

3 地方に眠る将来性ある技術の活用

4 既存事業の産業や組織の枠を超えた事業再編の促進

本来市場から退出すべき者の救済を目的とする資金供給は行わない。

第1号ファンドのハイライト

3つのポイント：

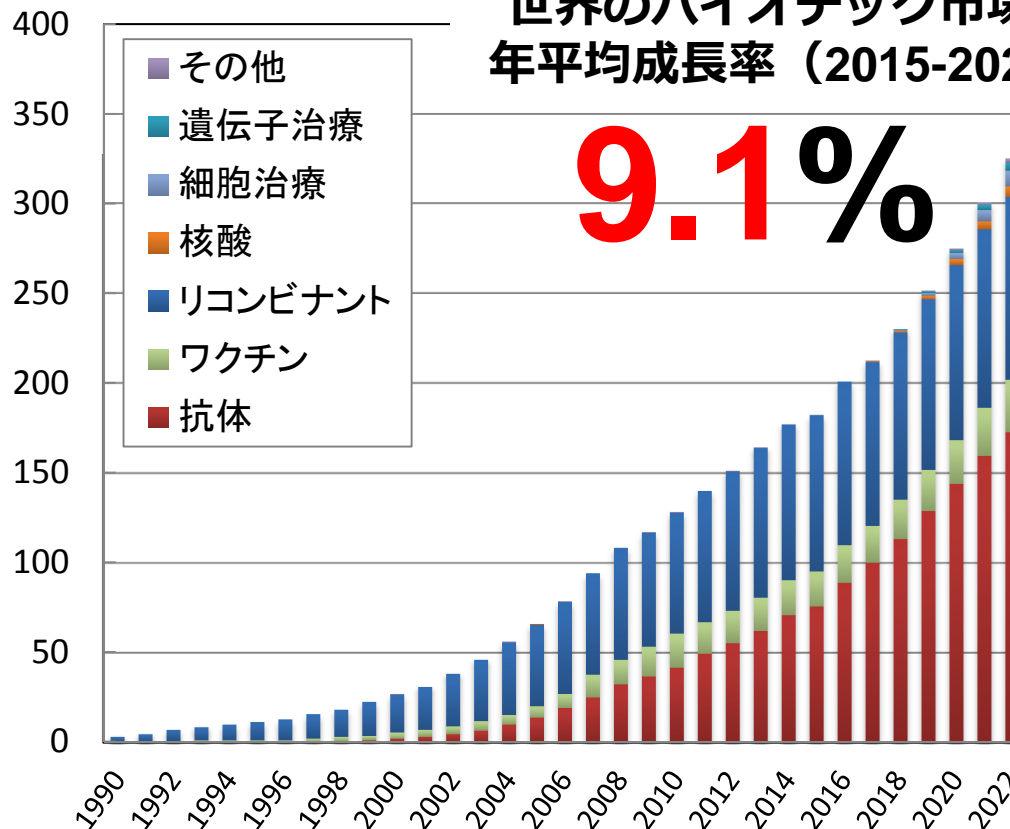
- 1 投資対象は米国を中心とした
バイオ・創薬関連分野
- 2 資金規模は最大20億米ドル
- 3 実績ある現地ファンドマネージャーが投資実行

10月24日、経済産業大臣の認可を取得
10月25日、産業革新投資委員会で決議

投資対象の概要

- 投資基準は「重点的に特定資金供給を実施する」分野の一つとして、「バイオ・創薬・ヘルスケア」を挙げている。
- バイオ・創薬関連事業は、世界的に高成長が見込まれる事業であり、その発展は「生活の質の向上」につながる。

売上高（10億米ドル）

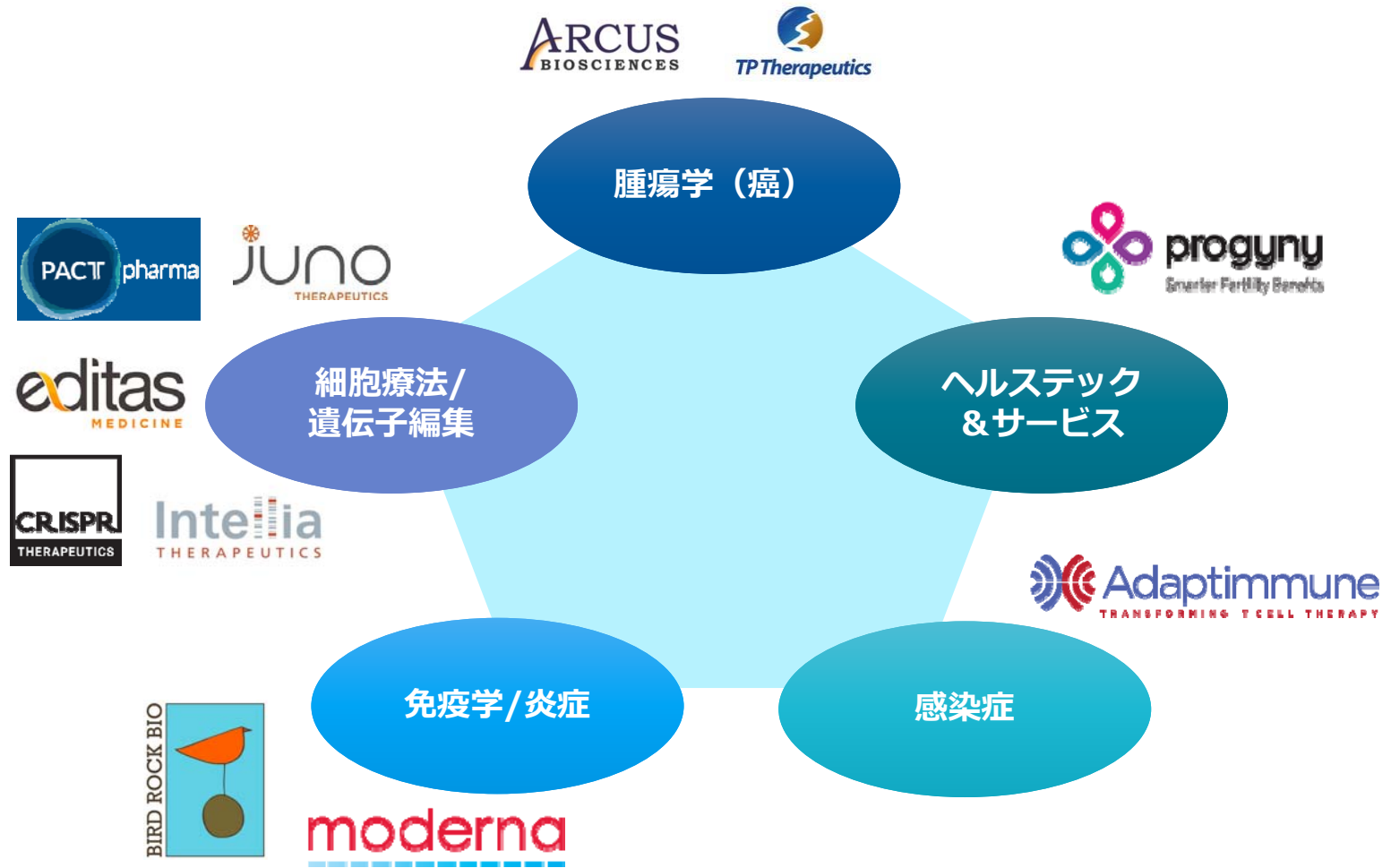


出所：EvaluatePharmaをもとに作成

出典：医薬産業政策研究所 RPN071 を株式会社産業革新投資機構にて一部修正

投資対象の概要

- ・ バイオ・創薬関連分野を広くカバーし、有望な企業に投資する。



投資対象の概要

- 世界最先端のバイオイノベーションの中核である米国へのアクセスが必須。
- アジア系ファンドも米国バイオベンチャーの成長性に注目し、積極的に投資。

ファンド名	設立年	概要	米国バイオ投資例
Third Rock Ventures 	2007	<ul style="list-style-type: none"> ● バイオ/ヘルスケアに特化し、多数の案件にアーリーステージから関与。 ● 運用資産はUSD 1.9bn。 	<ul style="list-style-type: none"> • MyoKardia • Casma Therapeutics • Foundation Medicine
The Column Group 	2005	<ul style="list-style-type: none"> ● アーリーステージの創薬企業への投資が中心。 ● 投資規模総額はUSD 1.1bn。 	<ul style="list-style-type: none"> • Arcus Bioscience • Proneurotech • Surrozen
Polaris Partners 	1995	<ul style="list-style-type: none"> ● バイオ/ヘルスケアに特化。 ● 運用資産はUSD 4bn規模。 	—
TEMASEK 	1974	<ul style="list-style-type: none"> ● シンガポール政府の出資のSWF。 ● 投資規模総額はSGD 308bnに上る。 	<ul style="list-style-type: none"> • Gilead Sciences
WuXi Healthcare Ventures 	2011	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国の大手医薬品開発受託会社であるWuXi AppTec社の投資事業から独立したヘルスケア向けファンド。 ● ファンド規模はUSD 350mn。 	<ul style="list-style-type: none"> • Agios Pharmaceuticals • Amicus Therapeutics • Foundation Medicine
PIVOTAL Bioventure Partners 	2017	<ul style="list-style-type: none"> ● 香港の不動産大手南豊グループが、サンフランシスコを拠点として設立した、ライフサイエンス専門のVCファンド。 ● USD 300mn規模。 	<ul style="list-style-type: none"> • Entasis Therapeutics • Sutrovax

第1号ファンドの設立・運営のねらい

7

米国ベンチャー投資の**インナーサークル**に入り、

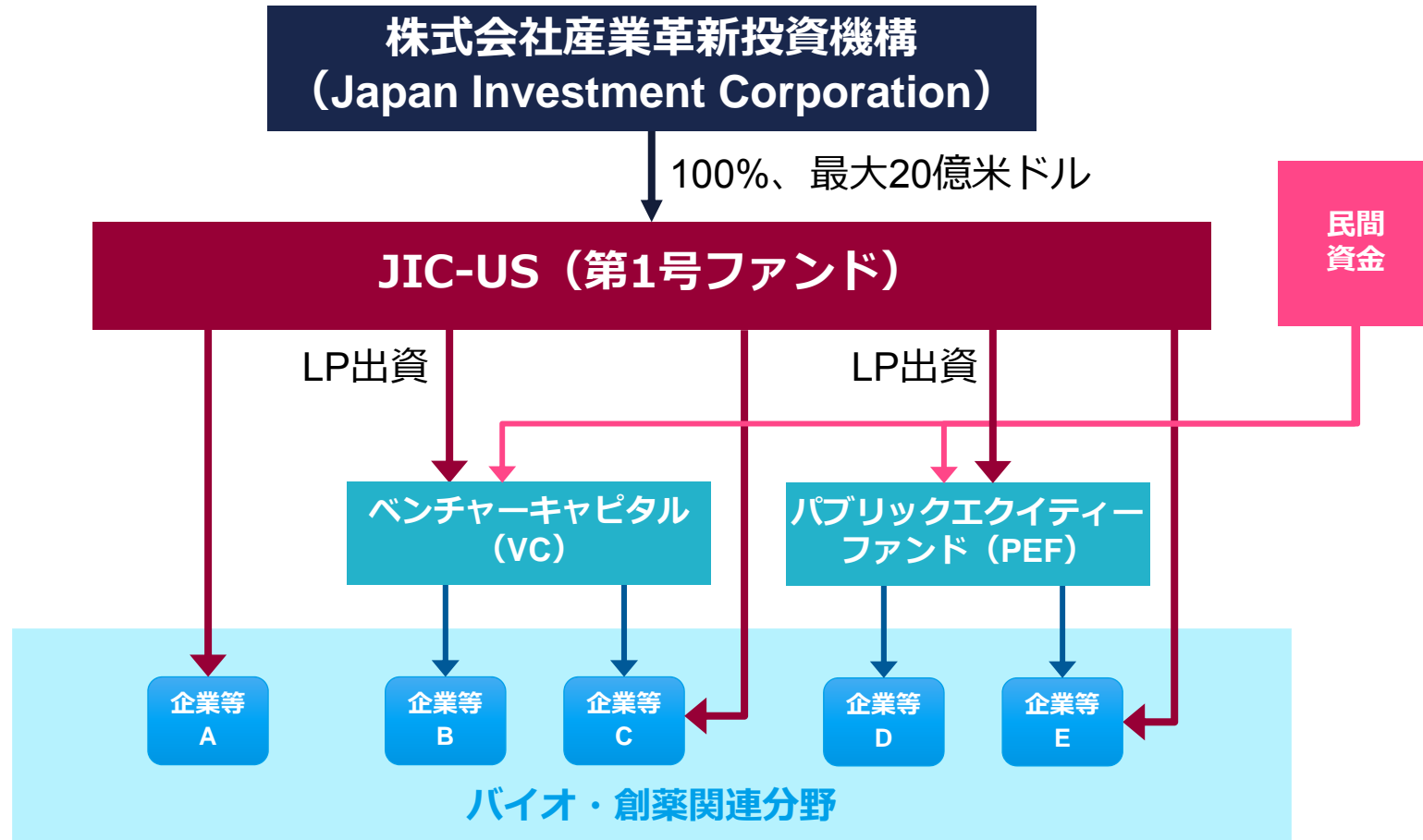
- 1 JICの「目利き力」を高める
- 2 国内VCファンドにおける
バイオ創薬関連分野への質の高い投資に活かす
- 3 国内バイオ創薬関連企業へM&Aや提携等の
機会を与える架け橋となる
- 4 日本発の技術の海外での事業化を支援し、
その成果を還元することを可能とする

今後の我が国におけるバイオ・創薬関連産業等の
競争力強化や新事業の創造に資することを目指す。

第1号ファンドのストラクチャー

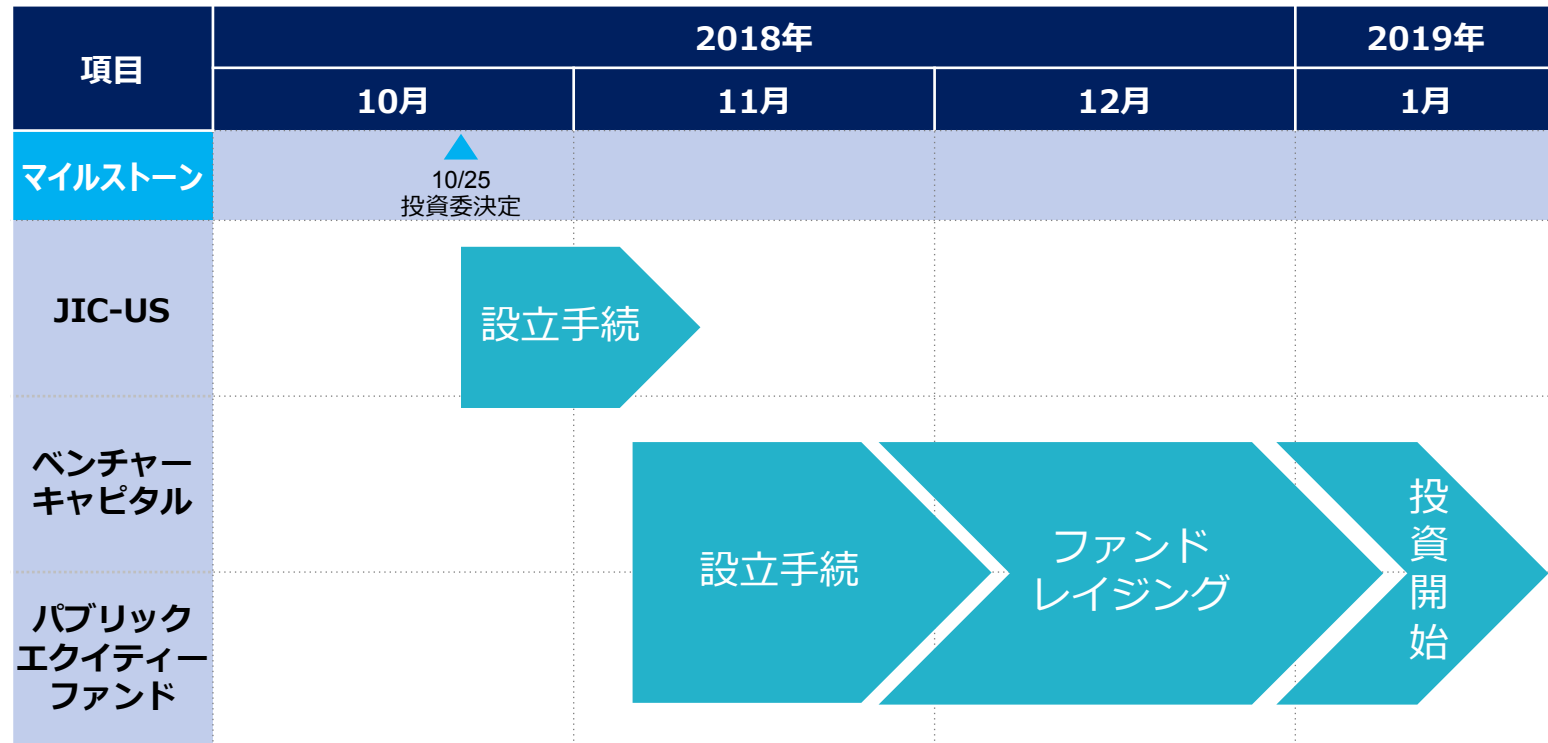
8

- 「ベンチャーキャピタル」は、シード、アーリーを中心とした各ステージのベンチャー企業に対して投資を行う。
- 「パブリックエクイティファンド」は、上場直前から上場後のスケールアップを目指す事業者等に対して投資を行う。



設立から投資開始までのスケジュール

9



第1号ファンドの目標

10

- JICは、JIC-USに対して政策目標及び収益目標を設定。
- 産業革新投資委員会は、JIC-USに対して検証・評価を実施。

政策目標

①

最高水準の投資人材及びアドバイザーによる最先端企業への投資を通じて、特定事業活動を推進

②

世界最先端の技術や知見を日本の製薬企業等に共有

③

JIC-USの投資先と日本の製薬企業との関係構築を支援

④

国内の投資手法の進化や若手の育成に寄与

収益目標

アセットクラスごとのベンチマークをJIC-USの解散時に上回ること。JIC-US全体の評価は、投資金額により加重平均。

主要メンバー：JIC-US

11

- JIC副社長・金子とともに、創薬分野の投資において優れた実績を誇り、幅広い人的ネットワークを有する人材を登用。

金子 恭規, MD/MBA



産業革新投資機構代表取締役副社長

バイオテクノロジーの先駆けであるGenentech社にて、事業開発及び遺伝子組換えヒト成長ホルモンのマーケティングにプロジェクトリーダーとして貢献。Paribas Capital Markets社を経て、Ionis Pharmaceuticals社の上級副社長兼CFO、Tularik社の副社長、LeukoSite社の取締役を歴任。米国のバイオ医薬品企業を対象とする株式公開や日米大手企業によるM&Aにおいて豊富な実績を有する。

- 慶應義塾大学 医学部卒
- スタンフォード大学 経営学修士取得

A氏, PhD/MBA



米国バイオ医薬品企業の創業者としての経歴、及び米国トップレベルのヘルスケアベンチャーキャピタルのパートナーとして10年以上の経験を有している。

生物学のPh.Dを取得するなど医薬に対する高い知識を生かし、投資家として優れた実績を上げている。

- 生物学博士号
- 経営学修士取得

主要メンバー：JIC-US VC

12

- 創薬分野の投資において優れた実績を上げてきたファンドマネジャーを登用。
- 同氏が投資をリードし、民間からの資金調達も実行。

B氏, MD/MBA



大手ベンチャーキャピタルにて、パートナーとして10年間、アーリーステージからミドルステージのバイオ創薬企業を中心に投資した経験を有する。それ以前は大手コンサルティングファーム、大手投資銀行で業務を経験した。

医学博士号（MD）を取得しており、投資家としての知見のみならず、医療に対する高い知見を有している。

複数の投資案件にて極めて高い収益を上げ、非常に優れた実績を有している。

- 医学大学院卒
- 経営学修士取得

アドバイザー：JIC-US / JIC-US VC

13

- ・ 米国におけるプライベートエクイティ研究の第一人者である弊社社外取締役・保田教授がJIC-USのアドバイザーに就任。傘下のVCファンドでは、製薬業界での投資・実務・研究に顕著な実績がある専門家をアドバイザーとして招聘。

保田 彩子教授, PhD



カリフォルニア大学デービス校 経営大学院教授
ペンシルベニア大学ウォートン金融機関センター
フェロー

論文「Impact Investing」で、社会的責任投資（SRI）に関する研究に贈られるモスコウィッツ賞を2016年度受賞。Journal of Financeなど主要な学術誌に多数の記事を掲載し、研究内容も各メディア・アウトレットで紹介される。著名な大学で採用されるMBAコースの教科書、「Venture Capital and the Finance of Innovation」を共著。

・ スタンフォード大学 経済学博士号

C氏, PhD



癌創薬等バイオベンチャーの共同創始者・CEO
バイオ・創薬関連分野の複数の機関・団体に所属。30年以上に渡り、バイオテクノロジー及び製薬産業における創薬及び開発に貢献。複数のバイオサイエンス企業の役員を歴任。米国大手製薬会社の化学管理職も経験。

・ 化学博士号

D氏, PhD



癌創薬等バイオベンチャーの共同創始者・社長
30年以上に渡り、創薬と開発のあらゆる局面に従事。現在、癌創薬を中心としたバイオベンチャーの共同創始者として社長に就任しており、それ以前もバイオベンチャーの共同創始者として同社社長及び研究開発責任者に就く。世界最大級のバイオテック企業の化学担当副社長等、複数の企業において化学部門責任者も経験。科学者としての実績に関しても、100編以上の科学論文を共著し、50件の米国特許を発明。

・ 有機化学博士号

E氏, MD/PhD



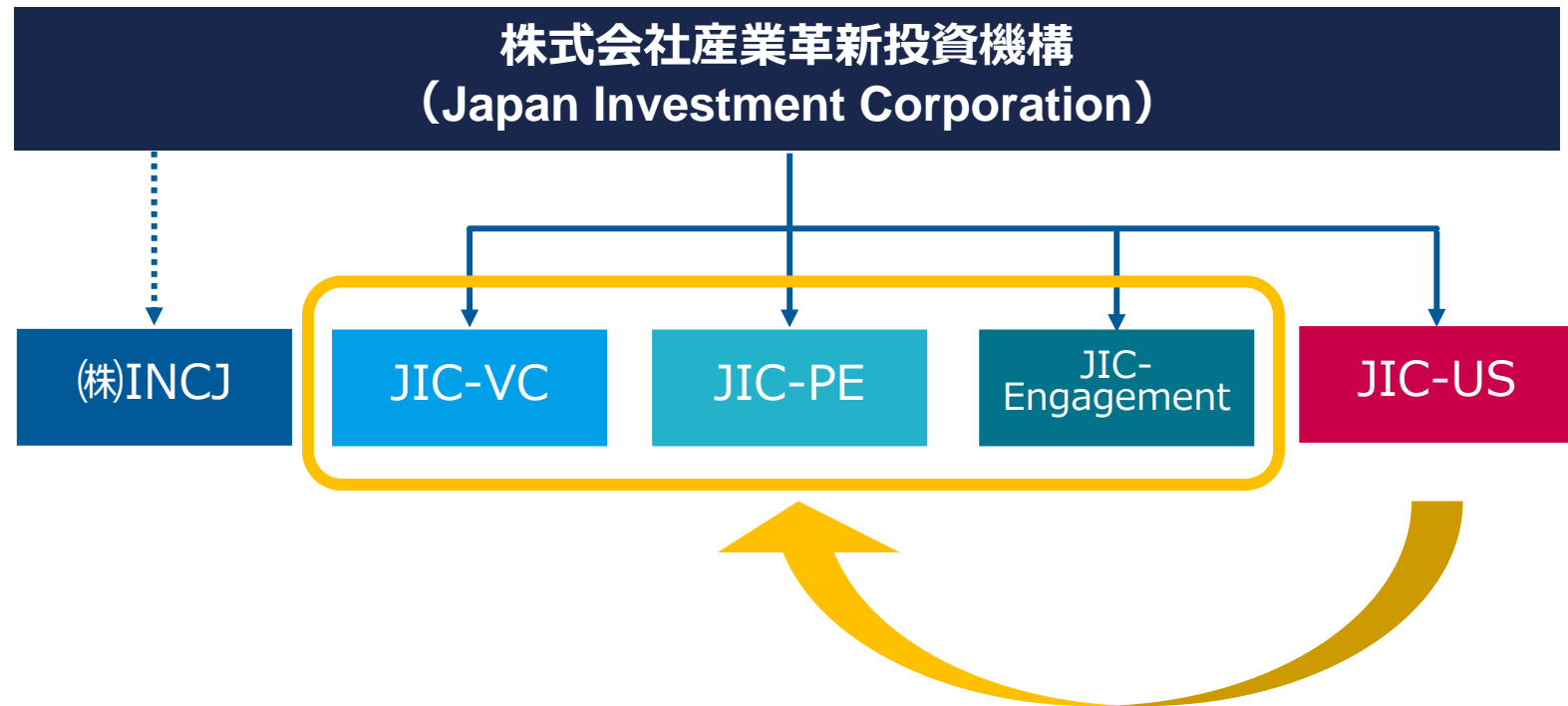
米国大手製薬会社のR&Dグローバル責任者
複数の取締役・諮問委員会で委員を務める一方、米国大手製薬会社にてR&Dチームを統括。それ以前は米国大手製薬会社の研究部門担当上級役員として、多数の研究プログラムを主導し、臨床開発段階に進めた実績を有する。

・ 医学博士号
・ 化学博士号

投資開始後の方針

14

- JIC-USの投資先企業とわが国の企業・研究機関等をコネクト。
- 米国で得た投資ノウハウを、JICの組織能力向上、VCを中心とした国内での投資に活用。





JAPAN INVESTMENT CORPORATION

<https://www.j-ic.co.jp/jp/>